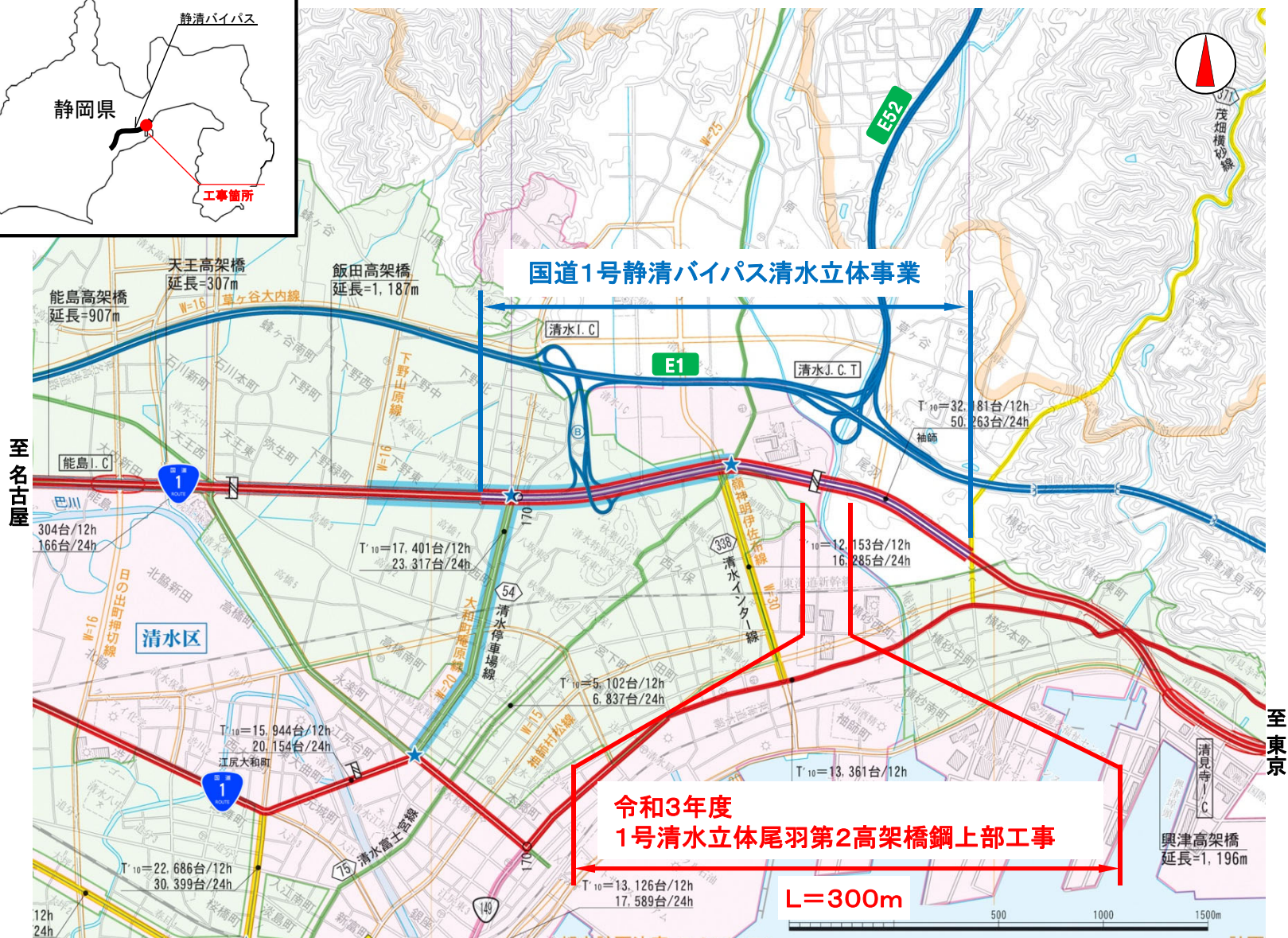
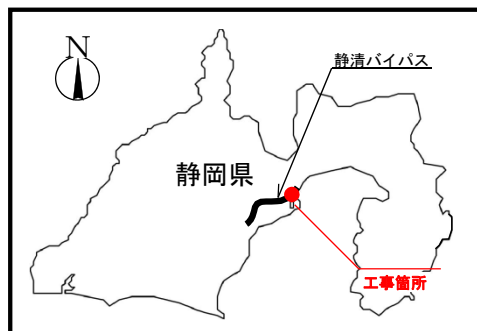


参 考 资 料

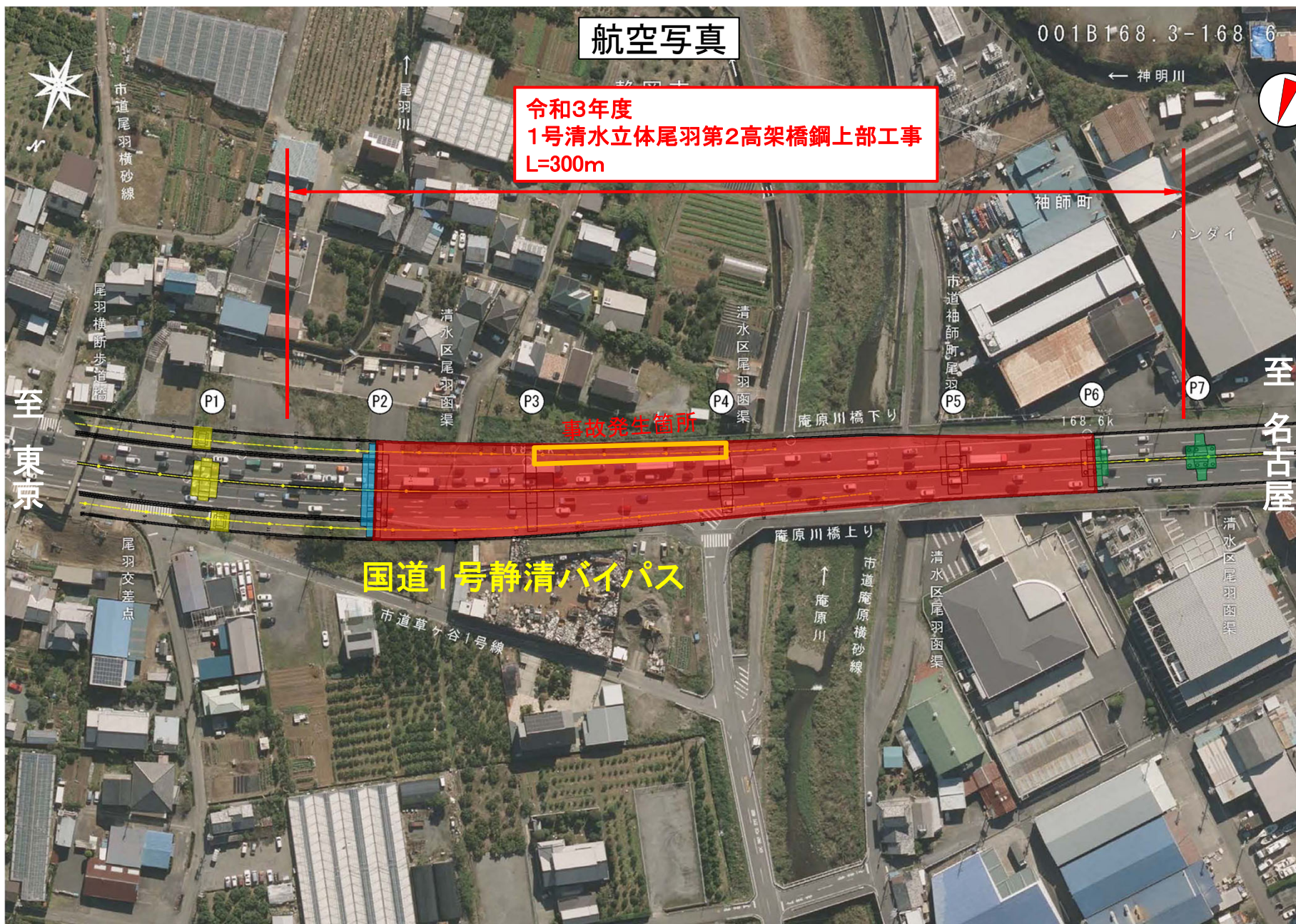
(参考-1) 工事概要

(参考-1) 工事概要

位置図

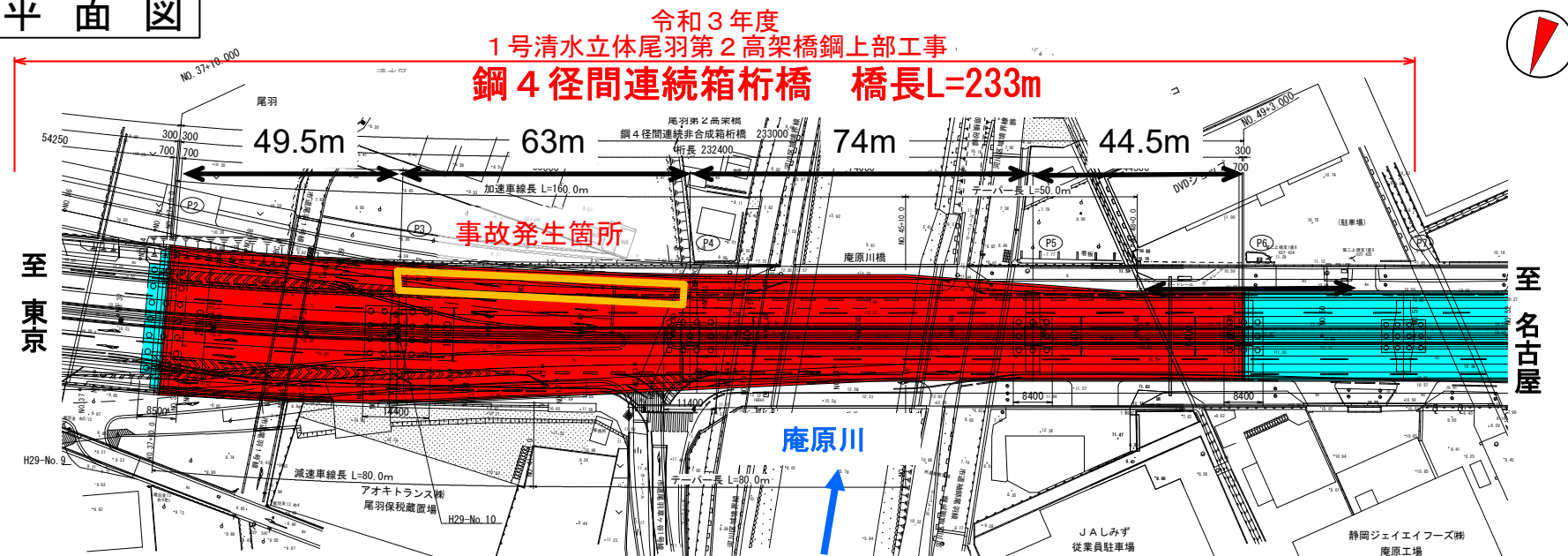


(参考-1) 工事概要

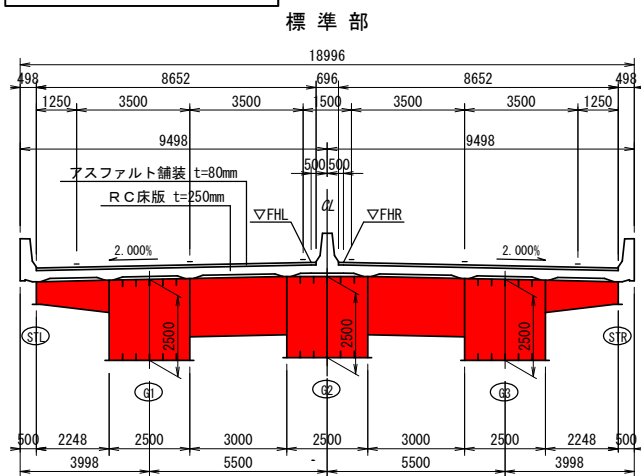


(参考-1) 工事概要

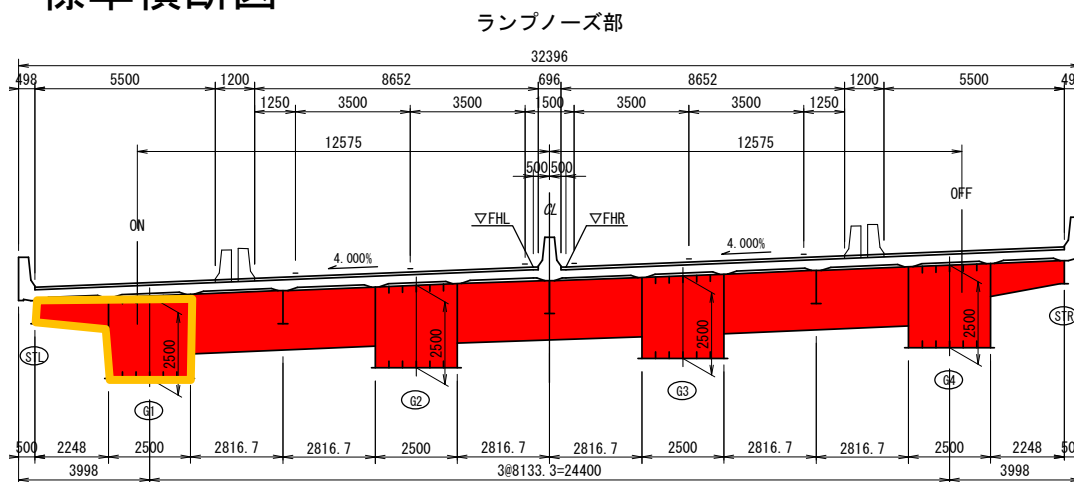
平面図



標準断面図



標準横断面図

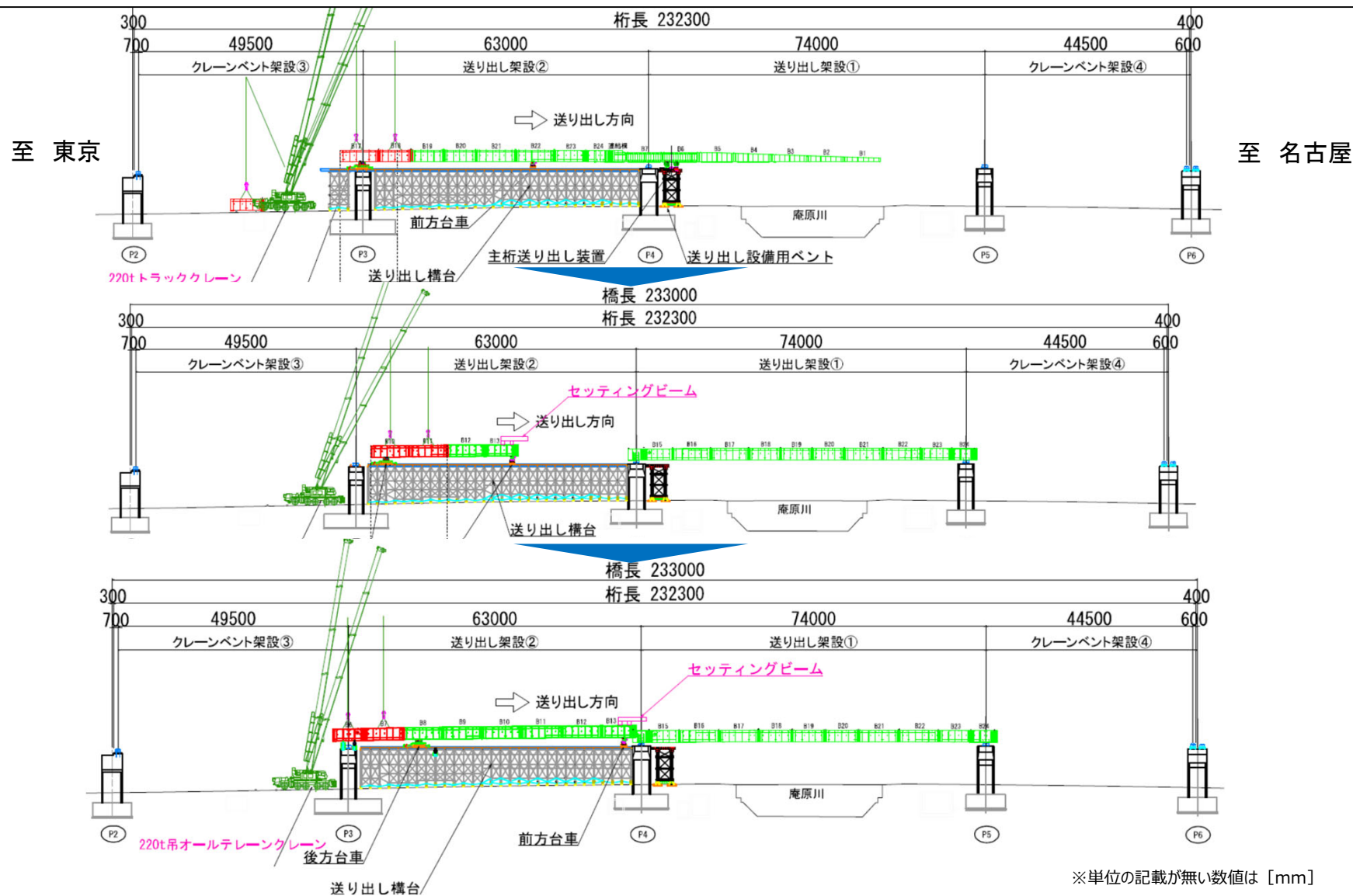


※単位の記載が無い数値は [mm]

(参考-1) 工事概要

架設方法①

事故があったP3橋脚～P4橋脚の橋桁の架設方法は、P4橋脚～P5橋脚間の送り出し架設を行った後に、P3橋脚～P4橋脚間の橋桁の送り出し架設を行うものであった。



※単位の記載が無い数値は [mm]

(参考-1) 工事概要

架設方法②

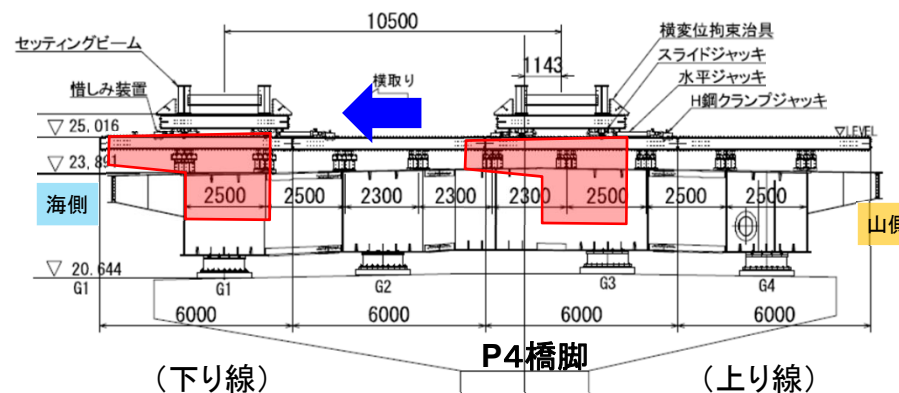
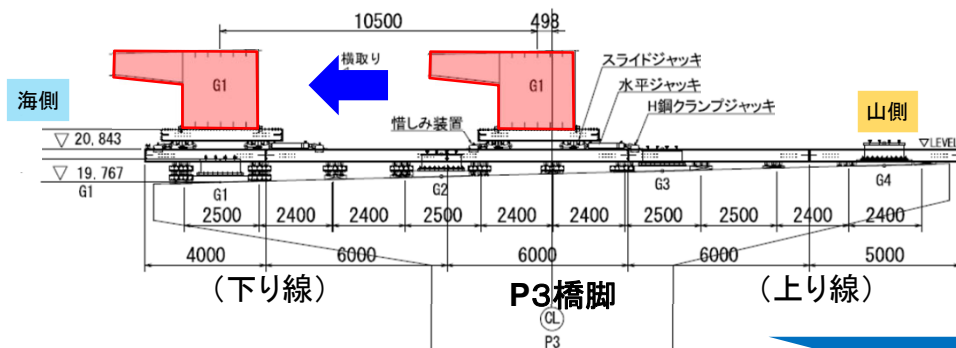
P3橋脚～P4橋脚間で送り出しを行い橋脚の中央で橋桁を組み立てた後に、橋桁を横方法に移動させた上で、支承の高さまで降下させるものであった。

OP3～P4間横取り

P3-横取り

P4-横取り

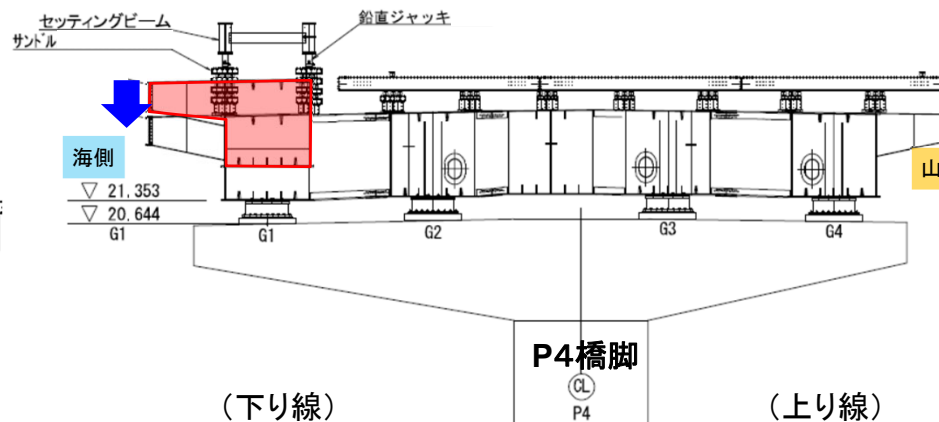
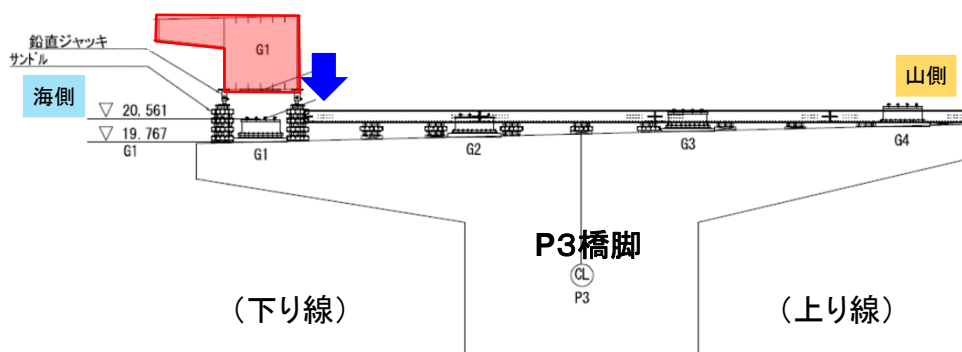
G1



OP3～P4間降下

P3-降下

P4-降下

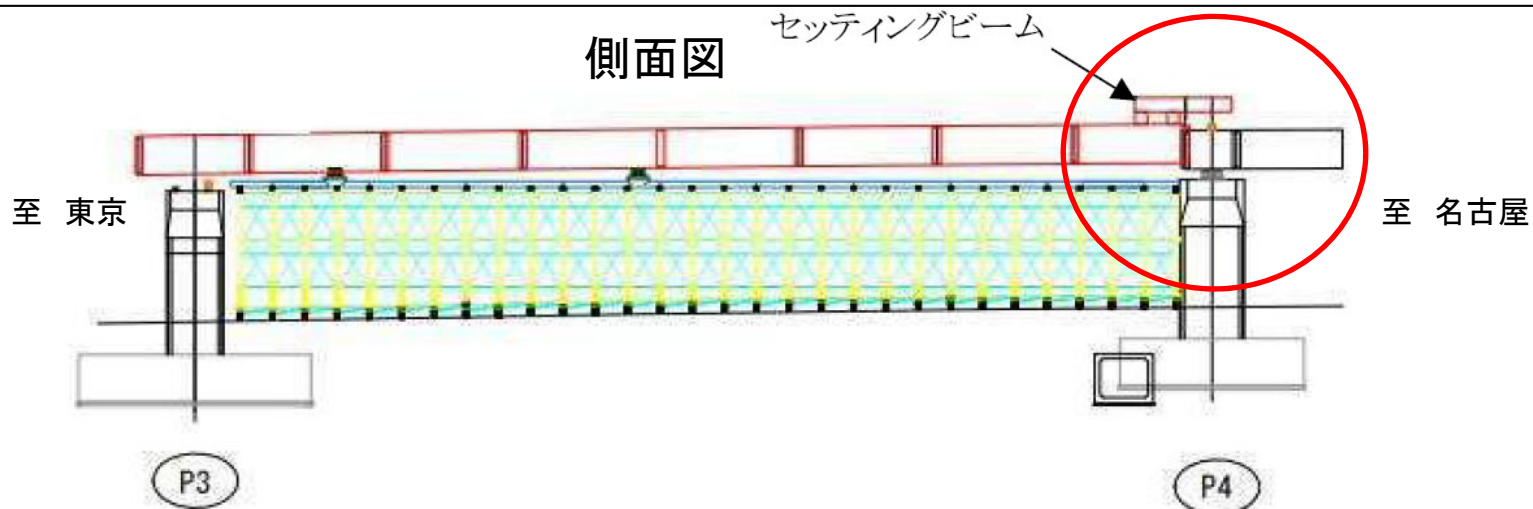


※単位の記載が無い数値は [mm]

(参考-1) 工事概要

架設方法③

P4橋脚側は既設桁上から横取り、降下作業を行うため、セッティングビームを用いた。



P3-P4間送り出し・横取り完了時

